

平成22年 5月11日(火)
国土交通省関東地方整備局
日光砂防事務所

記者発表資料

平成22年度日光砂防事務所事業概要について

日光砂防事務所管内は、世界遺産である「日光の社寺」をはじめとする貴重な文化遺産や豊かな自然、観光資源に恵まれた世界有数の観光地となっています。

しかし、大きな重荒廃地を抱え、脆弱な地質と急峻な地形のため度々土砂災害が発生してきました。

今後も、多数の観光資源や住宅地等を保全するため土砂の流出抑制を目的とする砂防施設を整備する必要があります。

事業の実施にあたっては、流域の荒廃状況や保全対象の状況、施設の整備状況を勘案して優先度の高い箇所から整備を進め安全・安心の確保に努めます。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
神奈川建設記者会
栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

日光砂防事務所
副所長 たのうえ 田上 ゆうじ 祐二 (内線 204)
工務課長 やまぐち 山口 ゆたか 豊 (内線 311)
TEL 0288-54-1191 (代)

1. 事業費

(百万円)

予算項目	前年度事業費(当初)	今年度事業費	対前年度比(%)
直轄砂防事業	213	135	63.4
直轄火山砂防事業	2,987	2,706	90.6
合計	3,200	2,841	88.8

※業務取扱費を除く。

2. 事業概要

日光砂防事務所には、大谷川・鬼怒川上流・男鹿川と3つの流域があり急峻な地形や脆弱な地質からなり過去にも多くの土砂流出による土砂災害が度々発生してきました。

多数の観光地や住宅地を、これらの土砂災害から守るため日光砂防事務所は大正7年より砂防事業を展開しております。

今年度の事業箇所は、計画段階の2箇所(砂防堰堤1, 床固1)、工事実施段階の13箇所(砂防堰堤6, 床固3, 山腹3, 谷止1)の合計15箇所を予定しています。

工事実施段階箇所の詳細は、新規・継続の別では、継続10箇所、新規3箇所です。

このうち、発注済み工事が5工事で残りの13工事を今後発注する見込みです。

流域	既発注						今後発注予定						計
	堰堤工	床固工	山腹工	護岸工	道路工	谷止工	堰堤工	床固工	山腹工	護岸工	道路工	谷止工	
大谷川流域			2			1	1	3	2	2	2		13
鬼怒川上流域	1				1		1				1		4
男鹿川流域							1						1
計	1		2		1	1	3	3	2	2	3		18

各流域別の整備方針は、以下のとおりです。

(1) 大谷川流域

水源部は、火山地帯であるため急峻な地形や脆弱な地質で形成されており、男体山の大薙や稲荷川の大鹿落としなど多数の崩壊地が存在し、土砂の流出が活発で豪雨時には更に多くの崩壊が発生する状況であるため、土砂の抑制を図る堰堤工、山腹工等の整備を促進し、国立公園内において緑を復元し流域の安全向上を目指します。

下流部は、床固工及び低水護岸未施工区間の整備を進め、人家等の保全とともに自然との共生や景観に配慮した川造りに積極的に取り組みます。

(2) 鬼怒川本川上流域

水源部は、大谷川と同じく火山地帯であるため急峻な地形や脆弱な地質で形成されており崩壊地が多く荒廃の著しい地域である。

且つ流域内には、温泉が多数あり地域の地質は温泉作用により非常に脆弱であり地滑りなどが起きやすく土砂の生産源となっているため砂防堰堤等を整備します。

これらを実施することで土砂流出による集落の孤立化防止や、下流に位置する人家等の保全を図ると共に、首都圏の重要な水源である多目的ダム(川俣・川治ダム)への流入土砂を軽減させる施設整備の促進を行います。

(3) 男鹿川流域

ほとんどが国有林であるとともに流域の荒廃度は大谷川や鬼怒川本川上流域に比べ低いが河床に過去流出してきた不安定土砂や流木が多く堆積している。

流域内の山腹土壌は不安定であり、山腹崩壊による土砂及び流木が発生するため、砂防堰堤の整備を促進し堆積土砂や流木が下流域へ流出することを防止します。

平成22年度工事

	事業名等	箇所・地先名	事業概要	備考
大 谷 川	慈観下流床固群 慈観下流山腹基礎工工事	日光市野州原	山腹基礎工	(継)床
	般若沢山腹工 般若沢上流山腹工工事	日光市二荒山	山腹工	(継)山 既発注
	華巖上流床固群 華巖上流砂防堰堤工事用道路工事	日光市中宮祠	工事用道路工	(継)床
	大谷川床固群 関の沢第4床固工事 清滝床固群前庭保護工事 水尻床固群前庭保護工事 瀬尾低水護岸工事 今市低水護岸工事	日光市関の沢・清 滝・水尻・瀬尾	床固工 前庭保護工 前庭保護工 低水護岸工 低水護岸工	(継)床
	馬返山腹工 馬返山腹工工事	日光市細尾町	山腹工	(新)山
	大真名子東沢谷止群 大真名子東沢第3谷止工事	日光市野州原	谷止工	(継)谷止 既発注
	天狗沢下流第1砂防堰堤 天狗沢下流第1砂防堰堤工事	日光市赤那岐	砂防堰堤工	(新)堰
	稲荷川山腹工 稲荷川上流山腹工工事 稲荷川工事用道路他工事	日光市赤那岐	山腹工 工事用道路工	(継)山 既発注
	湯沢砂防堰堤群 湯沢工事用道路工事	日光市川俣	工事用道路工	(継)堰
	鬼 怒 川	大事沢第5砂防堰堤 大事沢砂防堰堤群改築工事	日光市野門	砂防堰堤工
野門沢第5砂防堰堤 野門第5砂防堰堤工事	日光市野門	砂防堰堤工	(継)堰 既発注	
奥鬼怒上流砂防堰堤群 奥鬼怒工事用道路工事	日光市川俣	工事用道路工	(継)堰 既発注	
男 鹿 川	尾頭沢砂防堰堤 尾頭沢砂防堰堤工事	日光市上三依	砂防堰堤工	(新)堰

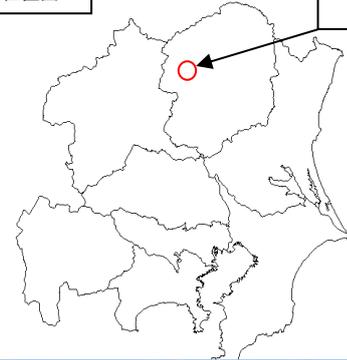
注)ここに記載する内容は、平成22年4月現在の見通しであるため、実際に発注する工事がこの記載と異なる場合、又はここに記載されている工事が取り消しになる場合、記載されていない工事が発注される場合があります。

利根川水系鬼怒川 直轄砂防事業 稲荷川山腹工

栃木県日光市

稲荷川山腹工

位置図



1. 概要

- ・稲荷川源頭部には「大鹿落とし」という大崩壊地が存在し、寛文2年の災害をはじめ、昭和41年には土石流が発生している。
- ・稲荷川下流域には日光市街地及び世界遺産「日光の社寺」が存在する。

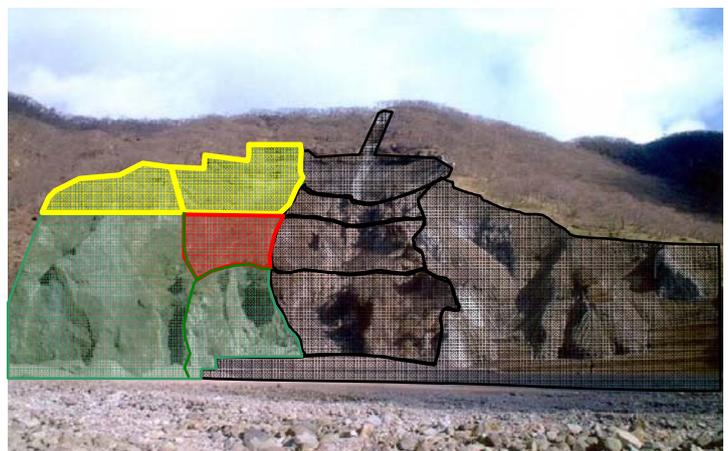
2. 事業効果

荒廃の著しい稲荷川流域において土砂生産源対策として山腹工を実施することにより、更なる土砂流出の抑止を行うとともに失われた緑の復元が図られる。

世界遺産「日光の社寺」及び大谷川沿川の市街地を保全する



ロッククライミングマシンによる無人化施工



● H20以前施工箇所
 ● H21施工箇所
 ● H22施工箇所
 ● 未施工箇所

とねがわすいけいきぬがわ ちよかつさぼうじぎょう だいやがわとこがためぐん
利根川水系鬼怒川 直轄砂防事業 大谷川床固群

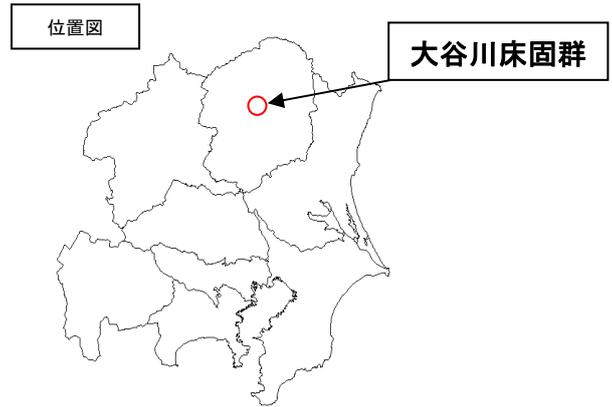
栃木県日光市

1. 概要

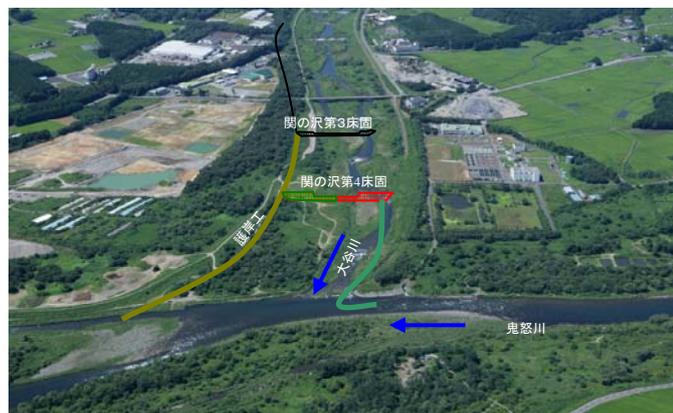
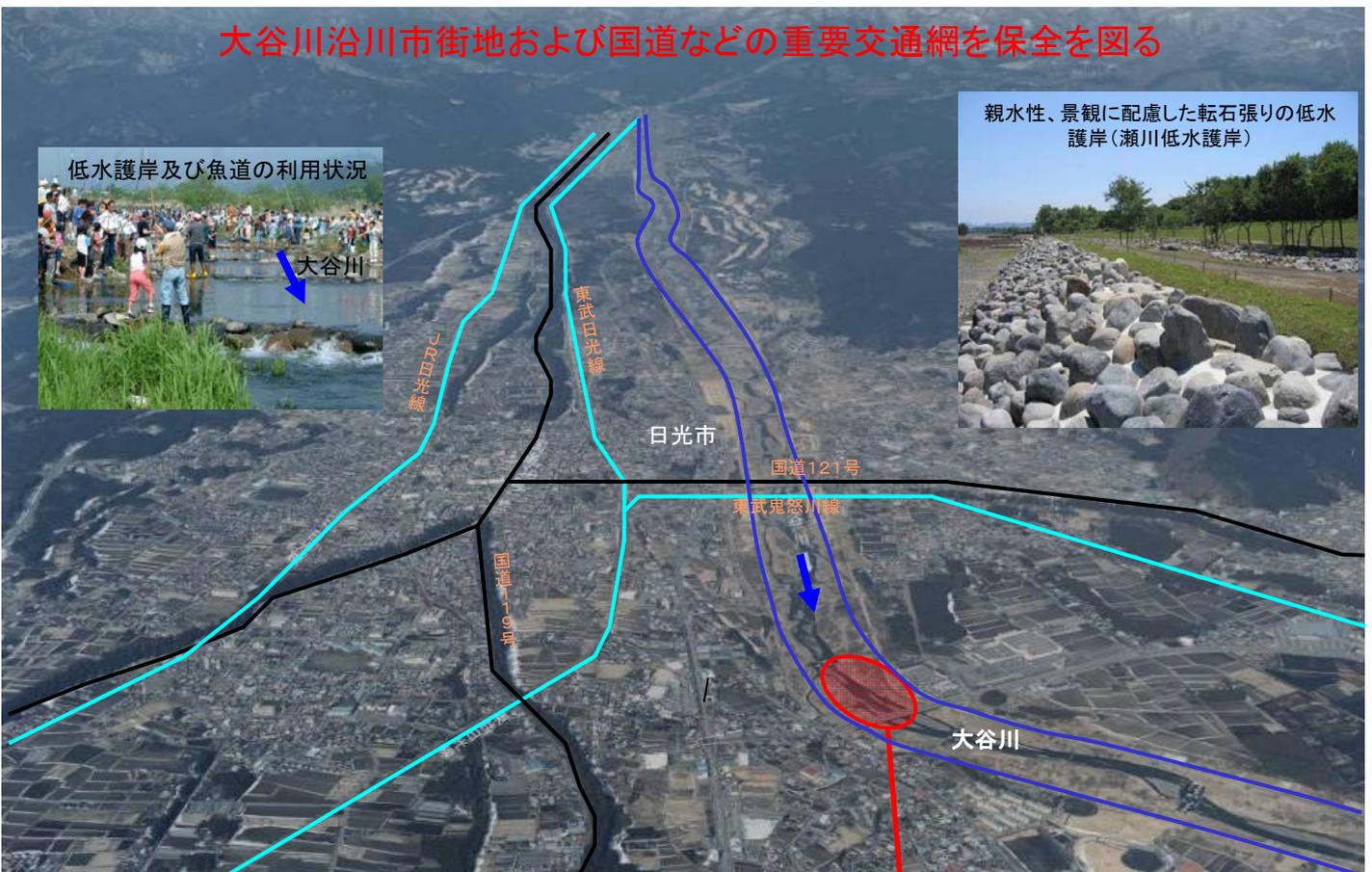
- ・上流には土砂生産の活発な稲荷川をはじめとする溪流が数多くある。
- ・日光市街地、鉄道、重要交通網である国道119号、121号がある。
- 工 種：護岸、右岸〈関の沢第3床固～合流点〉L=600m
 護岸、右岸〈水尻床固～馬場床固〉L=600m
 低水護岸、右岸〈前新田床固～前新田床固〉L=300m
 関の沢第4床固 1基

2. 事業効果

砂防施設とその周辺環境において親水性を持たせるための護岸、水制、魚道等の整備を行うことにより、沿川自治体に対する魅力ある地域づくりを支援する。



大谷川沿川市街地および国道などの重要交通網を保全を図る



護岸及び床固の計画箇所



低水護岸の計画箇所

● H20以前施工箇所 ● H21施工箇所 ● H22施工箇所 ● 未施工箇所